

なきごえ



1967

8

大 阪 市
天 王 寺 動 物 園

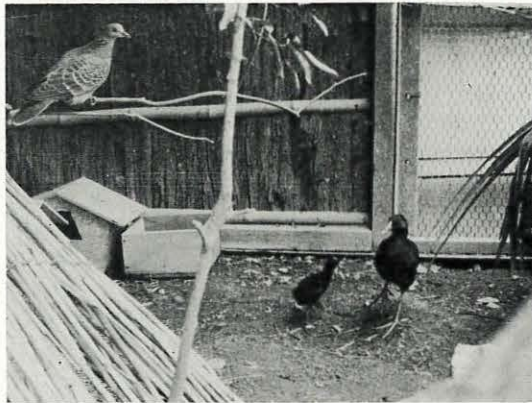
動物の紹介 (第19回)

ばん 鶴目 くいな科

この鳥は広く世界に分布していて、その仲間も200有余種類に及んでいます。我国では、くいな、ひめくいな、ひくいな、ばんなどがその仲間として最も知られています。この仲間は体型が一様に左右に扁平なのが特徴です。これは、彼らが好んですんでいる湖畔のあしのやぶの中を自由にくぐるのに便利に出来た体型と云うべきでしょう。

ばんは、くいなより一周り大きく翼長160mmで、水かきはありませんが、趾が大変長く、沼地を歩くのに非常に便利にできています。又、泳ぐことも潜ることもなかなか上手です。

河畔、水田にすみ、コロ、コロとよく鳴きます。全身灰黒色の地味な色ですが、下尾筒の白色と嘴の基部に赤い額板があるのが特に目立ちます。



本州には4月頃渡って来て前述の沼地、水田など、アシやマコモの繁った所にすみつきます。5～6月頃、6～10個産卵して育雛します。水辺の昆虫や小貝、雑草の種子などを食べて成長すると親仔とも11月頃には小さな群をつかって南方に渡ります。しかし、本邦でも九州地方では、一年中すみついているところもあります。

動物園の観察によりますと、人工飼育のもとにおいてもやはり5月頃産卵して自然ふ化しました。生まれたひなたちはまっ黒で、毛が立っているので、ぬいぐるみを着たようなかっこうです。それに体に不似合な大きな長いゆびをした脚を使

って一生懸命に母鳥のあとを追っかけて、チョコ、チョコと歩く姿は、お父さんの洋服を失敬して着た腕白小僧というところで、とてもユーモラスな感じがします。大阪近郊にもたくさん渡ってきて、今の東大阪市あたりで捕えたといっは時々寄附していたゞいていましたが最近、都市周辺の開発が進んだためか、その寝ぐらを奪われてしまって、めっきり寄附申出がなくなってしまったのは一寸さびしく感じられます。

このようなことは「ばん」だけでなく日本にすむすべての野鳥の運命でしょうか。人家近くにや

ってくるこれらの鳥にはもう少し何とか憩の場所を残しておいてやりたい気がします。

それから、これはお願いになりますが、よくハイキングに行った方が野鳥の卵を見つけては届けて下さいます。先般も「ばん」の卵を持ってこ

られました。ふ卵器で人工ふ化させたのですが、どうも親鳥がいないとうまく育ちませんでした。

しかし、折角、住みついた「ばん」は来年はもう来なくなるでしょう。ですから、このようなときはそっとしてやって雛が育つ有様を観察する方がよいのではないのでしょうか。そうすることによって、そのハイキングがとても楽しいコースになります。

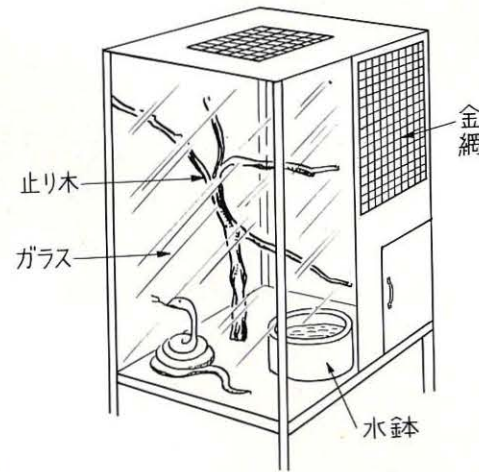
(松岡 恵爾)

へびの飼い方

夏先になるとよく電話や手紙で、「へびを飼うにはどうすればよいでしょうか」と問い合わせる方が多いので、今月はへびの飼い方について書いてみましょう。

「へび」なんて気味の悪いといわれる方もありますが、怖いもの見たさで、なかなか人気があります。へびは大変かわっていますので、飼ってみると興味深いものです。ペットとして飼うには、ヤマカガシ、シマヘビ、アオダイショウ、ヒバカリ、ジムグリ、シロマダラ等が適当です。飼育箱は、リング箱のあき箱を利用すればよろしい。(図1)

へびは逃げるのが十八番ですから、箱の前面を見やすいようにガラス張りにしてやり、風通しのために上面又は側面の一部分に防虫網を張っておけばよろしい。底には砂を入れてやったり(紙でもよい)脱皮を助けたり、休息、運動のために止り木を入れるのも一法です。へびは水をよく飲みますし、水浴するのを好みますので、ひっくりかえさないようなやや重みのある水鉢を入れてやることです。餌については、ドジョウ、カエル、オタマジャクシ、ハツカネズミ、小鳥、ウヅラの卵、トカゲ等で、いちばん嗜好に合うものにした



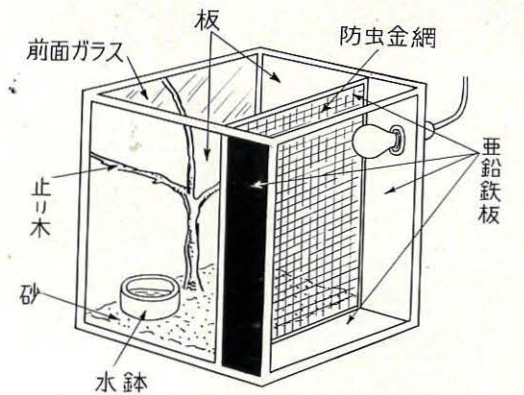
(図1)

飼い方シリーズ (第19回)

らよいと思います。へびは大変神経質ですから、触れたり、驚かせるとなかなか餌をたべてくれませんので、獲ってきたへびは5～6日位箱に入れて安心させ、その後に餌を与えましょう。

餌をやるのは1週間に1回位で、太ったへびになると月に1～2回位でよろしい。脱皮する前には必ず目が白くなります。病気にはあまりかかりませんが、寄生虫をわかつ時もありますので、駆虫剤を飲み水に入れてやればよろしい。又、口の中にチーズ様のものがつきだしたら抗生物質の軟こうを塗ってやるようにして下さい。

おわりに、冬のへびの飼育管理ですが、冬は冬眠しますので、秋口から冬先にかけて餌をどんどん与えて、春先まで冬眠させてやる方法と、飼育箱全体を25～28°C位に保たせて、冬眠させずに餌を与えてやる方法とがあります。この暖房については、家庭でやれる程度では電球による暖房ぐらいです。(図2)



(図2)

(米田 敏光)

表紙の写真説明

オランウータン

グロテスクだって、そんなこと云わないで下さい。入園後5年、すっかり大きく、たくましくなりました。

動物園グラフ

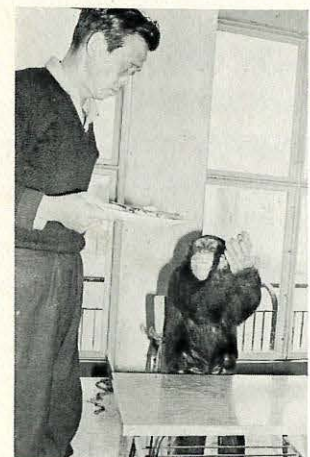
チンパンジーの調教

動物たちの無心の演技ほど人の心をなごやかにするものは他にないでしょう。皆さんは、夏休みでのんびりと毎日を送っておられることと思いますが、ここ、チンパンジーの演技訓練室では、秋のシーズンを控えて、今日も明日も厳しい訓練の日が続いています。ここにその訓練風景を御紹介しましょう。



←② おじぎ

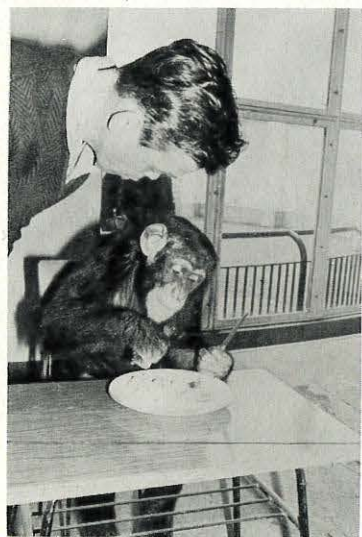
① おすわり



テーブルマナー

←③ おちようだい

④ ナイフとフォークを使う



←⑤ ごちそうさまでした



↑⑩ 自転車や三輪車のりの練習



↑⑥ ストローでジュースを飲む



↑⑦ 机やいすのかたづけ



↑⑨ なわとびと竹馬のりの練習



↑⑧ ローラースケートの練習 ↓



7月 動物園日記

- 1 インドくろかもしかのめすが急にお腹にガスがたまって苦しんだので、手当をしたら3日目によくなりました。
- 4 大フライングゲージでエジプトがんのひなが6羽自然ふ化しました。しかし、惜しいことに強い雨などでみんな死んでしまいました。
- 7 市内の幼稚園児がチンパンジーのキャンデーちゃんを囲んで七夕祭をしました。浴衣姿のキャンデーちゃんはおみやげの西瓜をパクついて大喜びでした。

- 9 このところ連日の豪雨が続いていましたが、動物たちはみな元気でした。
- 10 特別天然記念物、にほんかもしかの赤ちゃんが、滋賀県の比良山系で捕えられ、動物園に引きとり育てることになりました。赤ちゃんは生後3~4日で、体重2.5kg、体長25cm、体高37cm

- です。
- パーバリーシープのめす親が右後肢の脱臼をしてしまい治療をうけています。
- 11 ふたこぶらぐだ2頭が入園しました。
- 13 小鳥と爬虫類の家が、かば舎新築のため移設されることになり小鳥たちやワニやニシキヘビを別の小屋に移してやりました。
- 14 2頭目のとびかもしかの赤ちゃんが生まれましたが、虚弱児のため人工哺育しましたが、2日後に死亡しました。

- はなしかが2頭生まれました。
- 18 ゴリラのゴリちゃんが他の動物園に出されることになり、移動檻のとりつけがおこなわれました。
- 24 しまうま1頭、カンガルー1頭が入園しました。
- 27 3頭目のはなしかの赤ちゃんが生まれました。
- 28 新ペンギン舎の冷房設備の調整も終り、キングペンギンなどの冷房室組がおこし入れしました。

ペットを訪ねて

インコのお宿

大阪市東淀川区豊里菅原町 323

飯田光男さん

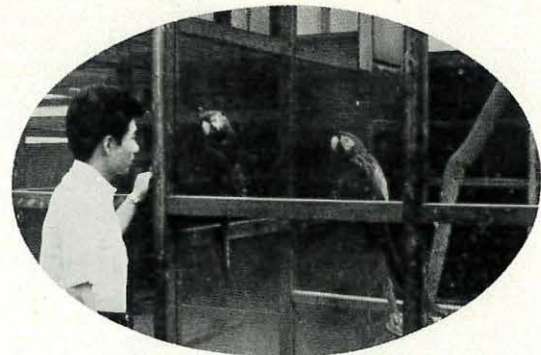
長柄橋を渡り、灼けつく様な淀川堤防の上を京都に向う。歩くこと約20分。工場街の一角に飯田晒染工場がある。この専務の息子さんが飯田さんである。

「父の鳥好きを受け継いで、14~5年前から飼いはじめました。鳥の中でも美しく上品なインコに最も心をひかれます。特に巣引困難といわれるインコ類を何とかふ化育すうしたいと、ヒスイ、ヅグロ、サメクサ、ニシキ、美声、天女、羽衣など約20種を集めています。」

従来、インコの巣引は大変難しいものとされていましたが、この原因は人真似とか、観賞用として金網籠で飼育する事が多く、強く進んで育すうを試みなかった点が挙げられると思います。

飯田さんは、この点を打破しようと、広い邸内のあちこちに巣引用の禽舎（片屋根式巾50cm、奥行3m）をズラリと並べ、毎年、珍しいインコたちがここから可愛い産声をあげています。

「インコは大変丈夫な鳥で滅多に病気などにかゝりませんが、最初購入する場合には、見てくれは悪くても丈夫な鳥を選ぶことで又、青なをよく食べるものが健康です。輸入鳥の場合は最初の冬



飯田さんとインコたち

は保温に注意することが肝心ですが2年目からは屋外飼育で充分です。

小屋は南向きの日当りの良い場所を選び、エサは麻の実やヒエ（6）アワ（4）シートなどを与え、青なは自家製の山東白菜を与えています。水、ボレーは勿論、缺かさず与えます。

発情期は2~3月頃で、平均産卵は3~5コ、多い時は7~8コで、ふ化するのは平均3羽内外です。

ひなは30日から40日で親と変らぬ位に発育し、早ければ翌年又は3年目には産卵を見ます。」

こうして5年前、日本でも数例しかないヒスイインコのふ化に成功したのを始め毎年ぞくぞくひなたちがかえっています。飯田さんは、技術者としての多忙な毎日の余暇をすべて鳥と共に過ぎ

れる。

「一度、ぜひ共、このインコたちの故郷のオーストラリアに行って直接この目で原地の自然にふれ、将来の計画の参考にしたい」と目を輝かせておられました。（中川道朗）

なきごえ 8月号もくじ

- 動物の紹介（ぼん）..... 2
- 飼い方シリーズ（へびの飼い方）..... 3
- 動物園グラフ..... 4,5
- ペットを訪ねて..... 6
- 動物園ニュース..... 7

動物園ニュース

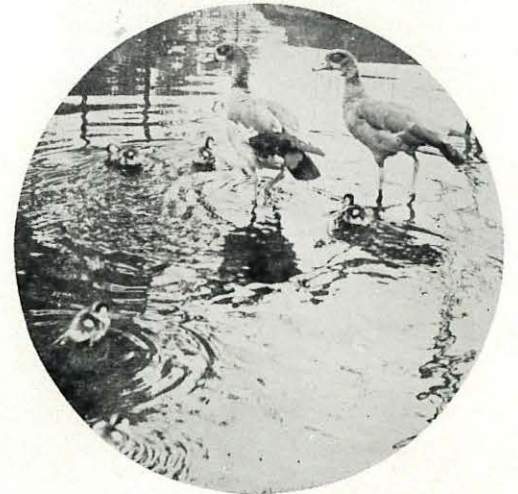
にほんかもしかのくろちゃん



7月10日アユ釣り有名な滋賀県の石田川の上流の砂防ダム工事場で、連日の大雨に母親とはぐれた特別天然記念物の「にほんかもしか」の赤ちゃんが捕まりました。

天王寺動物園で引きとって飼育してほしいという申出がありましたので、早速ひきとられ、エスピラックという動物用の粉乳で育てられていました。くろちゃんと呼ばれてできるだけ涼しい場所に小屋を建てて入れておきましたが、大変な暑がりやで大阪の夏には本当に閉口しているようでした。7月末頃からすっかり元気をなくして、時々激しく痙攣を起すようになっていました。そしてついに一度もよい子のみなさんにお目見得せずに入園22日目で死んでしまいました。

エジプトがんのひな誕生



フライングゲージ内でこのとりなどと雑居していたエジプトがんが6羽のひなをふ化させました。白と黒のぶちのうぶ毛が大変かわいいひなで、両親の足もとをヨチヨチ歩くさまに子供たちの人気が集まっていました。しかし、梅雨末期の豪雨と鼠害でおしいことに、全部死んでしまいました。

初公開された新冷房ペンギン舎

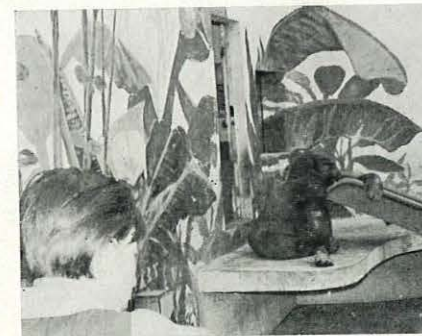


冷房装置のテストの成績も上々で、室温や水温は15°Cと外界とは別天地の冷しさ。

7月28日、いよいよ、旧ペンギン舎からキングペンギン5羽、ヒゲペンギン、マカロニペンギンなどの南極の紳士たちがおこし入れしました。ペンギンたちは明るく広々とした室内に大はしゃぎで、これで暑い夏もゆっくり乗り切るでしょう。

ゴリラのゴリちゃん

東北の動物園に旅立つ



昨年11月にめすのリラちゃんに先立たれ、それ以後はすっかりしょげかえり、又、気も荒くなっていました。なんとかいゝお嫁さんと園長はあちこちさがしていましたが、適当な相手もなく半年以上がたちました。結局若いゴリラ2頭を新しく買い入れることとして、ゴリちゃんは東北地方の動物園に引きとられることになり、7月31日に旅立ちました。ながい間、良い子のみなさんに親しまれてきたのに本当にさびしいことです。東北の良い子のみなさん、ゴリちゃんを長くかわいがってやって下さい。

なきごえ 昭和42年8月15日発行（毎月1回15日発行）第3巻第7号（通巻27号）

編集人／和田辰巳 発行所／社団法人大阪市天王寺動物園協会

大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 771-8401

定価 40円

